

公立小松大学重点研究「みらい」 研究実績報告書

| 氏名 | 所属・職名 | 助成金額 |
|-------|---|----------|
| 片山 美穂 | 保健医療学部看護学科・講師 | 1,000 千円 |
| 研究課題名 | ストレングスモデルを活用した教育効果と関連する波及効果 | |
| 研究期間 | 2021年 6月 1日 ~ 2023年 3月 31日 | |
| 研究の概要 | <p>【背景】 看護学科の精神保健看護実習ではストレングスモデルを活用している。ストレングスモデルは、1990年代にラップらによって提唱された障害者への支援技法 (Rapp, A. C. & Goscha, J. R., 2006) である。ストレングスモデルは、誰もが持っている「問題と付き合い、力」を信じ、当事者自身がなりたい姿に向かっていく「希望」を支援するモデルである。このストレングスモデルを活用した教育により、地域で生活する当事者への看護的支援をより効果的に進めることのできる看護師の養成が期待できる。実際、このモデルの活用を具体化した情報用紙：ストレングスマッピングシートを開発した萱間 (2016) は先駆的に学生教育に適用している。本学科においても開学以来導入している。しかし、このストレングスモデルを活用しての看護教育は始まったばかりであり、その活用に関する研究報告は極めて少ない。</p> <p>【目的】 ストレングスモデルを教授された学生の学修効果の検討</p> <p>【方法】 参加者：保健医療学部看護学科4年生、方法：研究に同意した参加者に、実習成績評価公表後にグループ面接を実施する。分析にはGrounded Theory Approachを用いた。</p> | |
| 研究の成果 | <p>ストレングスモデルを活用した結果、以下3点が明らかとなった。なお、抽出された概念、コアカテゴリー：【】とサブカテゴリー：《》を使用して示す。</p> <p>1. ストレングスマッピングシートを当事者理解に活用するプロセス 学生は《ストレングスマッピングシートは関係づくりのきっかけ》として、当事者理解を進めていた。その結果、《記録のために義務的に聞く》あるいは《夢と希望をしっかり聞きたい》のどちらかに至るプロセスを循環していた。学生が当事者のことを知りたいと考えるようになったカギは【当事者に夢を聞く発想】を持ったことであった。</p> <p>2. ストレングスモデルを活用してみたいと考えたきっかけ 学生は《ストレングスモデルの考え方を知》り、精神保健看護実習で初めて実践した。その後《ストレングスモデルは使わない》あるいは《ストレングスモデルを使いたい》のどちらかに至るプロセスを循環していた。学生がストレングスモデルを使ってみたいと考えたカギは【当事者の夢の実現可能性】を感じたことであった。</p> <p>3. ストレングスモデル活用によって学生に起こった変化 実習開始当初、学生は当事者の《リスクや問題を探(す)》していた。しかし実習中、《ストレングスマッピングシートでストレングスを発見》し、一緒に当事者の《夢の実現のために行動する》体験をしていた。さまざまなプロセスを経て《できないところばかり見える》あるいは《当事者にはできることがいっぱいある》のどちらかに至るプロセスを循環していた。当事者理解の変化のカギは、自身の【当事者の見方が変わ(る)】ったと感じたことであった。学生は当事者の実際の姿と持っていたイメージが違うことに気づき、夢ややりたいことに向かって行動する当事者の姿に、自身の中にある、「当事者はできない」という思い込みを変化させていた。</p> <p>※ 当事者とは、「精神障害を持ちながら地域で暮らしている人」を指す。</p> <p>看護教育への示唆 看護教育にストレングスモデルを取り入れることは、“People come first” をより意識できる看護師養成に繋がることが示唆された。また、学生はこれまで問題解決モデルを適用した看護支援を学んできた。しかし、慢性疾患を持ちながら地域で生活する当事者にとって、全ての問題を解決することは難しい。できないことや不足していることを指摘し改善させる支援モデルの他に、夢や叶えたいことの実現に向けて、当事者の主体的な行動を支援できる支援モデルを活用することで、当事者支援の幅が広がる可能性が示唆された。</p> | |

| <p>研究成果発表状況</p> | <p>【学会発表】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 片山美穂、相上律子、北岡和代：精神保健看護実習においてストレングスマッピングシートを当事者理解に活用するプロセス。日本精神保健看護学会第32回学術集会（東京），2022. 6. 2. Katayama M, Aijo R, Nakada A, Kitaoka K: Adoption of strengths-based approaches to patient care among nursing students. The 7th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science（台湾），2022.10. 3. 片山美穂、相上律子、北岡和代：当事者の見方が変わる：ストレングスモデル活用による看護学生の当事者理解の変化。第42回「日本看護科学学会」学術集会（広島），2022.12. <p>研究結果は学会誌に投稿中。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------|--|-----|--------|-----|--------------------------------|-----------|--|-----------------|-----------|--|--------|-----------|--|-----|----------|--|-------------|-----------|--|--|--|
| <p>経費の執行状況</p> | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="384 535 699 573">区 分</th> <th data-bbox="699 535 963 573">執行額（円）</th> <th data-bbox="963 535 1544 573">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="384 573 699 680">①物品購入（ノートパソコン、收音マイク、ICレコーダーなど）</td> <td data-bbox="699 573 963 680">593,916 円</td> <td data-bbox="963 573 1544 680"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 680 699 757">②文字起こし、翻訳、英文校正費</td> <td data-bbox="699 680 963 757">105,743 円</td> <td data-bbox="963 680 1544 757"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 757 699 795">③学会参加費</td> <td data-bbox="699 757 963 795">138,348 円</td> <td data-bbox="963 757 1544 795"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 795 699 833">④書籍</td> <td data-bbox="699 795 963 833">31,845 円</td> <td data-bbox="963 795 1544 833"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 833 699 969">⑤その他（文房具など）</td> <td data-bbox="699 833 963 969">129,818 円</td> <td data-bbox="963 833 1544 969"></td> </tr> </tbody> </table> | 区 分 | 執行額（円） | 備 考 | ①物品購入（ノートパソコン、收音マイク、ICレコーダーなど） | 593,916 円 | | ②文字起こし、翻訳、英文校正費 | 105,743 円 | | ③学会参加費 | 138,348 円 | | ④書籍 | 31,845 円 | | ⑤その他（文房具など） | 129,818 円 | | | |
| 区 分 | 執行額（円） | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①物品購入（ノートパソコン、收音マイク、ICレコーダーなど） | 593,916 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②文字起こし、翻訳、英文校正費 | 105,743 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③学会参加費 | 138,348 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④書籍 | 31,845 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤その他（文房具など） | 129,818 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |